



## 市内一斉避難訓練の検証



昨年12月21日(日)午前8時30分から南海トラフ地震の発生を想定し、市内一斉の避難訓練を実施しました。

前年の訓練を踏まえて、避難場所や経路の検証を行うとともに、早期避難率を算出するため、想定地震発生から、10分後、20分後、30分後の避難者数を計測しました。今回の訓練には、約1,500人の参加がありました。(訓練参加者の詳細および前年平成25年との比較は、下記表のとおり)

前年に比べ避難者数が減少するという結果にな

りましたが、いざというときに迅速な行動につなげるためにも、今後の訓練にも多くの皆様のご参加をお願いします。

災害への備えや対策は、公助の部分だけでなく、自助・共助による取り組みも非常に重要です。家屋の耐震対策や家具の転倒防止、食糧などの備蓄といった取り組みを進めていきましょう。

今回の訓練でいただいたご意見は、広報3月号に掲載する予定です。

### 平成26年12月21日 市内一斉避難訓練の避難者数等

| 地区名    | 10分後         | 20分後         | 30分後         | 地区別避難率(%) | 避難対象者数※      |
|--------|--------------|--------------|--------------|-----------|--------------|
| 須崎地区   | 206          | 380          | 435          | 7.81      | 5568         |
| 多ノ郷地区  | 96           | 283          | 353          | 4.51      | 7831         |
| 新荘地区   | 134          | 208          | 249          | 20.44     | 1218         |
| 安和地区   | 48           | 64           | 129          | 17.48     | 738          |
| 南地区    | 54           | 86           | 97           | 8.03      | 1208         |
| 吾桑地区   | 68           | 90           | 92           | 16.67     | 552          |
| 上分地区   | 31           | 38           | 43           | 9.47      | 454          |
| 浦ノ内地区  | 14           | 19           | 52           | 2.55      | 2037         |
| 計(人)   | 651 (-172)   | 1168 (-554)  | 1450 (-504)  | —         | 19606 (-255) |
| 避難率(%) | 3.32 (-0.82) | 5.96 (-2.66) | 7.40 (-2.44) | —         | —            |

※避難対象者数とは、高知県が発表した最大クラスの地震津波により、浸水する地域の人口です。(平成26年11月末現在) 訓練参加人数には、地域の高台などの人数を計測できない場所は含まれていません。

( )内の数値は、前年平成25年からの増減した値です。

## 佐川町との 協定締結



昨年12月21日に、須崎市は、佐川町と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

本協定は、災害時等の必要物資や職員の派遣、被災者の一時収容施設の提供等の応援を相互に行うことを目的としています。

須崎市では、南海トラフ地震に伴う津波浸水により、多くの避難者が予想され、避難者の一時収容施設の不足が課題です。津波浸水区域外の、国道494号線で繋がる佐川町との協定は、今後の応急・復旧対策に非常に有効なものです。



佐川町で行われた締結式の様子

### 防災まめ知識

知ってナットク

新聞紙は、丸めて服の中に入れたり、体に巻きつけると保温効果が得られます。  
また、ゴミ袋やラップと合わせると効果も大きくなります。

地震・防災課 地震・防災係

☎42・1236